

文化財防火デー

毎年1月26日は全国一斉の文化財防火デーです

冬場はストーブで暖を取るなど火を取り扱う機会も増えていると思います。特に今年はコロナウイルスの影響により外出を控え、自宅にいる時間も長いと思います。冬場は空気の乾燥や強風の影響等により火災が発生しやすくなっています。ストーブなどの近くには燃えやすいものを置かない、コンセントにほこりがたまらないようにする、寝る前に火元の確認をする、放火の危険があるようなものはなるべく置かないようにするなど、日頃の意識を徹底しましょう。湯浅が伝建地区の選定を受けてから15年目を迎えます。その間、町並みの修理修景が行われ保存されてきました。しかし、災害や人災による損失は、保存されてきた日本の大切な文化を失うことになりかねません。各家庭で防火対策に努め、貴重な文化財である町並みを守りましょう。



～湯浅の歴史について学ぼう～ 第11回

署などの官公庁
があります、
いずれも当初は
道町や南栄付近
にあって、やが
て郊外に移転し
ていきました。



有田郡役所及び郡会議事堂

官公庁の変遷
古くから有田地方の中心地であつた湯浅には、明治維新後の近代地方行政の官公庁が置かれました。明治2年(1869)、道町南のT字路付近に有田郡民政局が設置されました。この時の知局事は濱口梧陵、副知局事は菊池海莊でした。この民政局は、明治12年(1879)に深専寺西に移転して有田郡役所に、その後明治43年(1910)には前役場第2庁舎の場所に移転し、隣には郡会議事堂がありました。郡制は大正の終わりに廃止されましたが、この地は有田地方事務所などとして地方行政の中心機能を担い続けました。
現在も、湯浅町内には税務署や警察署などの官公庁があります、いずれも当初は道町や南栄付近にあって、やがて郊外に移転していきました。

湯浅伝建地区保存協議会

皆様に瓦版をより身近に感じてもらうために、まちなみ瓦版の記事を募集しています！ご意見・ご要望などございましたら、右記のまちなみ瓦版編集委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

編集委員

半邊 宗五
妻木 良三
道津 節子
楠山 吉雄
油谷 太一



まちなみ瓦版

■令和2年12月28日
■第54号
■発行：湯浅伝建地区保存協議会
■発行責任者：木下 智之

新年あけましておめでとうございます



昨年は2月に済生会有田病院にて発生した、新型コロナウイルス感染症の影響で風評被害に見舞われ、ほとんどのイベントも中止となり、大変な思いをされた1年だったと思います。

ようやく秋口から観光客も戻ってきておりますが、新型コロナウイルス感染症の第3波が到来している昨今、先行きが不透明な1年になると思われます。

そんな中でも、新型コロナに負けるなと「吊るし飾り12000体プロジェクト」が立ち上がり、当会も後援する形で、9月から「後の雛まつり」を開催させていただきました。

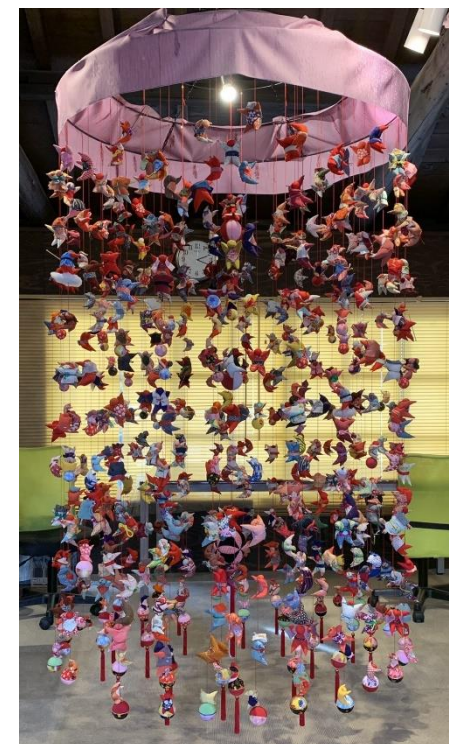
「後の雛まつり」は、思った以上に皆様方からの評判も良く、NHKの放送後は問い合わせの電話が殺到するなど、反響が凄かったのを思い出します。

今年も2月6日より「湯浅まちなみひなめぐり」を開催する予定です。(第3波の状況によっては、中止や延期の場合もあります)

また、「吊るし飾り12000体プロジェクト」で取り組んできました、「疫病が去る Go! Go! Go!」の願いを込めた、555体の猿っ子も完成しておりますので、「湯浅まちなみひなめぐり」でお披露目をしたいと思っております。

令和3年が皆様方にとっていい年になりますようにと祈念して、新年の挨拶に代えさせていただきます。

湯浅伝建地区保存協議会 会長 木下 智之



猿っ子555体



吊るし飾りの様子

報告 保存協議会 役員会を開催しました

日時：令和2年10月28日（水） 午後5時30分～午後7時00分
場所：北の町老人憩の家 1階 出席者：木下会長、副会長2名、事務局2名
議題：ひなめぐりについて、視察研修について等



【協議内容】

<ひなめぐりについて>

日程：2月6日（土）～3月14日（日）

今年度は、上記の日程で開催を予定していますが、特別展や御雛展は行わない方向です。例年通り甚風呂や岡正、北町ふれあいギャラリーに展示をしますが、駅前多目的広場がなくなり、吊るし飾りや猿っ子の展示を行うのでその分展示スペースが必要になります。そのため、岡正と立石茶屋の展示スペースをいつもより奥まで確保するように考えています。なお、猿っ子に関しては大きいので甚風呂に展示する予定です。

<視察研修について>

例年行っている視察研修について今年は準備がまだできておらず、コロナの状況もこの先判らないので**中止**とします。

来年度のことについて、候補地として兵庫県たつの市、京都、ならまち、滋賀県彦根等が上がりました。この中には過去に訪れたところもありますが、別の目的でもう一度行くよう考えているところです。コロナのことを考えると都会は避け田舎にした方がいいのではないかという意見が出ています。その他の候補地があれば随時ご連絡ください。



岡正横の椅子が新しくなりました

岡正横にある椅子がかなり傷んでいたため右記写真のとおり新しいものに交換しました。

高さが少し高くなりましたが以前より座り心地の良いものになりましたので休憩する際にぜひご利用ください。



まちの話題 信愛地域フィールドゼミナール

10月24日（土）、11月7日（土）に和歌山信愛大学教育学部子ども教育学科の2年生が伝建地区を訪れました。10月24日は10名の学生が訪れ、2つのグループに分かれ甚風呂や鍛冶町の千山庵、角長の醤油蔵等を見学し、伝建地区内を散策しました。その後昨年から修理を行っている現場に行き、工事の概要について大工の方から説明を受けました。11月7日は午前と午後に分かれ、修理の概要について説明を受け、釘打ち等の大工体験を行いました。また、構造補強の方法や庭の整備方針について考えました。午前は8名、午後は5名参加し大工体験を楽しんでいました。学生たちは今回学んだことを生かし、湯浅町についてのかるたを作成し、子供たちとの交流を検討しています。



散策の様子



大工体験の様子

湯浅小学校の生徒がポスターを作成しました

湯浅小学校の生徒が下記写真のとおりコロナ対策のポスターを作成し、北町ふれあいギャラリーとえき蔵観光交流センターに掲示しています。3月末まで掲示していますのでぜひご覧いただき、コロナ対策を行いましょう。



北町ふれあいギャラリーの掲示